

2023 2024 CSRレポート



MUKAI

人と、社会と、未来の創生



都市開発が進む札幌市

トップメッセージ

■ 未来社会の発展に貢献

気候変動、エネルギー政策、紛争、貧困などの課題に対して、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標「SDGs」の理念を、ムカイグループ各社も掲げ、環境負荷の軽減に繋がる取り組みや地域社会との共生を図るため、積極的に取り組んでおります。

社会環境の変化に柔軟に対応しつつ、社会やお客様先様の信頼に応えるための考え方を次の5つにまとめ、MUKAISM5か条として常に心に留め励んでおります。

MUKAISM5か条

1. 礼儀礼節を重んじること
2. 報恩感謝を理解して実践していること
3. 主体性を発揮して何事にも積極的であること
4. 善行、利他行を積むこと
5. 日々反省をして魂を錬磨すること

ムカイグループは「持続可能な未来社会の発展に貢献する」ために、あらゆる可能性に勇気を持って「たち向かって」参ります。



ムカイホールディングス株式会社
代表取締役社長 向井 敏雄

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





私たちは
未来社会の発展に貢献していきます



ムカイホールディングス株式会社

グループ全体のDXを推進

■ P.2～3



向井建設株式会社

ビッグプロジェクトに
「たち向かう」

■ P.4～14



MUKAI GROUP

TOM

株式会社TOM

すべてのお客様へ
安心と満足を

■ P.15～17



MKエコプラント株式会社

私たちが地球のために
できること

■ P.18～19



株式会社 稲田組

豊かな人と社会をつくる

■ P.20～21

変わりゆく時代に向けて グループ全体のDXを推進

ムカイホールディングス株式会社



■ 会社概要

代 表 者	代表取締役社長 向井 敏雄
東 京 本 社	東京都千代田区神田須田町2-8-1
設 立	1976年4月1日

資 本 金	10,000,000円
事 業 内 容	持株会社、グループ会社の経営管理 および、これに付帯する業務

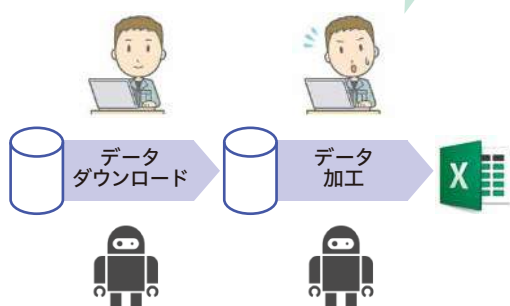


2018年4月1日 向井創業が改称し、ホールディングス体制に移行しました。
私たちは、社会に貢献し続けるために、知恵を出し、人材を育成し、ムカイグループとしての魅力と連帯感を高め、総合的なシナジー効果を発揮してまいります。

■ RPA(Robotic Process Automation)による業務の自動化

RPAを導入して、日々繰り返し行う単純作業や複数のアプリケーションを組み合わせた作業を自動化させ、グループ各社の作業負荷の軽減に取り組んでいます。

人がやっていた手作業を



RPAツールが 人の代わりに業務を進めます

RPAの仕組み



RPAは、プログラムによって自動化されるため、基本的なプログラミングを学ぶ勉強会を実施しています。

勉強会には、各社、各部門のITに詳しい社員が集まり、熱心にプログラミングを学びました。

RPAで作業負荷の軽減が図れた例

- 就活サイトの管理画面から、対象の学生に対しスカウトメールを自動送信
- サーバーに格納された情報をAIチャットボットに学習させ、社内の問い合わせ対応業務を削減
- 健康診断データを基に、現場をサポートするWEBシステムに、血圧などの必要事項を自動転記

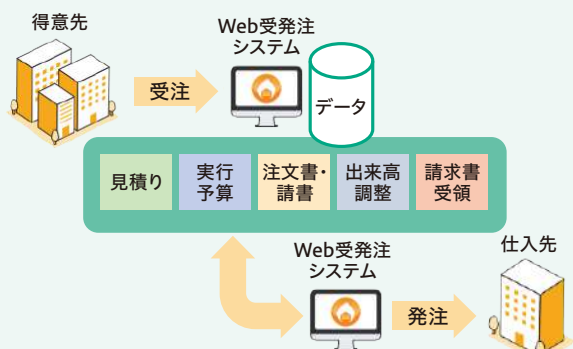


RPA勉強会 向井社長も出席

■ グループ全社に新基幹システムを導入

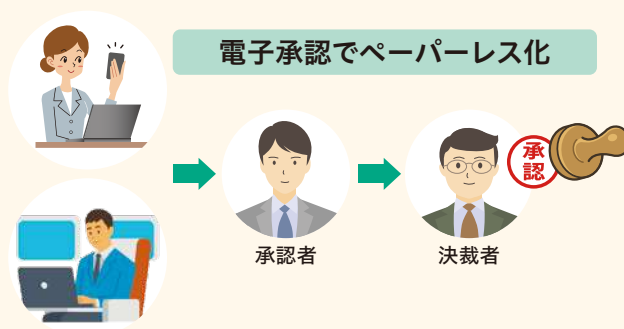
当社が進める新基幹システム(NCS)の導入プロジェクトが本格的に始動しました。現在のシステムは、導入から約38年が経過し管理会計の業務が非効率なため、川上から川下までの業務を一貫性を持たせたシステムに入れ替え業務効率の向上を図ることを目的にしています。このプロジェクトはムカイグループの未来にとり非常に重要であり歴史に残る挑戦です。必ず成功に導くよう努力と情熱を持ってシステム完成を目指します。

■ 2重入力の排除



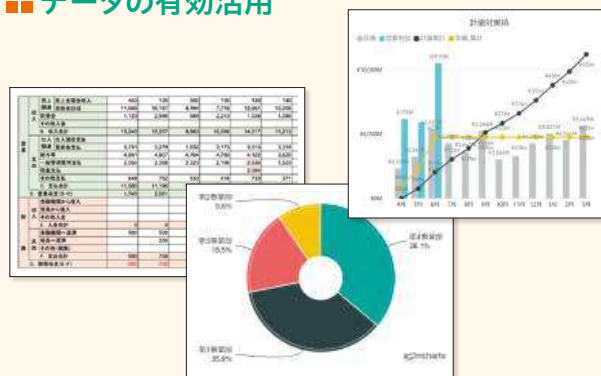
Web-EDIとデータ取込み

■ いつでも どこでも



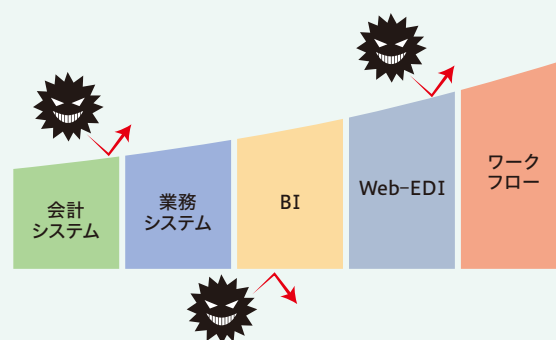
ワークフロー、電子承認導入

■ データの有効活用



データ取り出しとBIツール

■ 完全性、可用性、機密性



外部サービス利用によるセキュリティ強化



NCSプロジェクト キックオフ

NCSとは

New Core System
(ニュー・コア・システム)の略。
ムカイグループ新基幹システム
プロジェクトの名称。

変わりゆく時代に向けて ビッグプロジェクトに「たち向かう」

向井建設株式会社

会社概要

代表者	代表取締役会長 遠藤 和彦 代表取締役社長 大神 光司
東京本社	東京都千代田区神田須田町2-8-1
東北支店	宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17
営業所	横浜・東関東・北関東・名古屋 青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
出張所	いわき・柏崎

創業	1908年8月1日
設立	1951年1月25日
資本金	100,000,000円
事業内容	建築一式工事・土木一式工事・とび土工 コンクリート工事・型枠工事・鉄筋工事 解体工事・産業廃棄物処理業、他



芸術・文化発信の力を持つ新たなビジネスモデルビル

TODA BUILDING

東京駅に近く、銀座と日本橋を結ぶメインストリート“中央通り”に面するロケーションは、芸術・文化発信拠点とともに、賑わいある新時代のビジネスを創出します。当社は、日本で本格的なコアウォール免震構造に果敢に挑戦をして「安全は私たちにとり最高の価値」を実現しました。



TODA BUILDING

京橋一丁目東地区／京橋彩区について

京橋一丁目東地区の街区名称を「京橋彩区」と名付け、ミュージアムタワー京橋（事業者：株式会社永坂産業、公益財団法人石橋財団）とTODA BUILDING（事業者：戸田建設株式会社）の2つのビルで構成される本街区は、「アートと文化が誰にも近い街」をコンセプトに開発が行われ、両ビルの低層部にはミュージアムギャラリー、イベントホールなどを構え、足元には中央通りに面する間口120mの緑豊かな広場が広がります。時代や社会の変化に合わせて、街区と共に京橋の魅力も高め、子どもから大人、ビジネスパーソン、観光客など訪れる方々に、芸術文化の魅力と居心地の良い時間・空間をお届けします。

※戸田建設株式会社ホームページから引用



右：TODA BUILDING（2024年竣工）
左：ミュージアムタワー京橋（2019年竣工）

工事概要

発注者：戸田建設株式会社
主要用途：事務所・集会場・美術館・物販店舗・
飲食店舗・自動車車庫
延床面積：約94,813㎡（28,680坪）
構造：SRC・RC・S・CFT
階数：地下3階・地上28階・塔屋1階

コアウォール免震構造

1階床下に設けた免震層により敷地の大部分を免震構造とすることで、地震時に広場を含めた建物内外の安全性を高め、事業継続性（BCP）、地域継続性（DCP）に貢献します。上部構造は連層耐震壁（コアウォール）を建物中央に配置し、アウトリガー梁・制振梁と連結することで、高い耐震性能を確保します。コアウォールが建物の心棒となり、上層階まで揺れと変形を大幅に低減します。



TODA BUILDINGに携わって



建築統括部 建築第二部 工事二課 永岡班
職長 橋本 聖矢 (勤続13年) 佐賀県立唐津工業高校 卒

この現場は、コアウォール免震構造という初めて経験する構造で、地下工事は、梁やスラブが厚いため、支保工足場もスパンが細かく組み方も従来とは違う複雑な組み方で、私自身でCADで図面を書き数量拾いをして大変苦労をしましたが、ボリュームのある足場を組み上げた時に達成感を感じました。この現場でも職長会の会長として、SDGsの取り組みとして、廃棄物を20品目くらいに選別し、「RPE」という固形燃料として再利用できる分別も行い環境負荷低減に取り組みました。そして、職長会会長を2年間任されたのですが、元請の所長さんや他社の職長さん達から「橋本さんが会長だからみんながついてきたし良かった」と言ってもらえて努力が報われ嬉しかったです。今後は、今まで以上に技能を磨き、技術や知識を増やし、図面も書けるなど自分の色を濃くしていき「橋本なら任せられる」とみんなに思われる職長を目指します。

建築統括部 建築第二部 工事二課 永岡班
有村 大斗 (勤続1年) 東京都立墨田工科高校 卒

私は、入社前から、大きなビルの建設に携わりたい気持ちがあり、こんなに大きなビルに携われることをとても誇りに思います。現場では、目の前のことに集中していて、実感はなかったのですが、完成した現場を見たときに、改めてすごい現場に携われたなと感じています。現場では、SDGsの一環で、ごみの分別などや、清掃活動を積極的に行っていました。外国人技能実習生の教育にもしっかりと取り組んでいました。これからも、先輩と後輩をサポートし「二刀流」で頑張ります。



建築統括部 建築第二部 工事二課 (現、名古屋営業所 所長)
工事担当者 鹿島 大 (勤続10年) 茨城県立水戸工業高校 卒



TODA BUILDINGの施工にあたり、各支店から戸田建設様の社員が集まり、今までの経験を活かした様々な意見や提案がありました。打合せを重ねる中で、私自身が今まで思いつかなかったことや気づかされたことが多くあり、多くの方の価値観に触れることができ、非常に勉強になりました。向井建設は昼夜を問わず施工を行い、1日の稼働人数が100人を超える日もありました。各施工班の強い責任感と高いプライドを持った職長と日々現場の状況について連絡を密に取るようコミュニケーション向上を重点的に考え現場を進めました。そして、工期に遅れを取らないよう労務確保と次工程に繋がる打合せなどを日々行っており、施工中はかなり気が張りつめていましたが、竣工を迎え改めてTODA BUILDINGの大きさと高さに気付いた瞬間に大きな達成感を感じると共に、少し寂しさを感じました。TODA BUILDINGに携わっていただいた多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



システム足場クライミング



上棟式 集合写真



産業廃棄物の分別ヤード

羽田空港の利便性を高める環境整備

■ モノレール浜松町駅建替工事(その2)

モノレール浜松町駅はJR浜松町駅に隣接し、羽田空港へ向かう東京モノレールの起点となる駅で1964年に開業して以来、半世紀以上が経過しており、現在進行中の開発事業に伴い、建替工事が始まっており、向井建設もその工事に携わっています。



整備後の浜松町駅周辺イメージパース(2030年度予定)



浜松町駅は、主要交通機関が集積する利便性の高いターミナル駅であり、羽田から東京の玄関口としての機能を果たしています。昨今、駅周辺では複数の大型再開発プロジェクトが進行しており、今後は更に駅利用者・来訪者・就労人口が増加し、都心部の拠点の一つとしてこれまで以上に重要な役割を担っていくこととなります。本計画では、駅周辺エリアを広域的につなぐ歩行者ネットワークの構築、及び浜松町駅の交通結節点としての機能強化を図り、利便性の高い魅力ある都市環境を整備しています。



現場管理者の声を聞く

現場代理人
土木統括部 施工管理グループ
加藤 真之介 (勤続12年) 日本大学 卒

私は2018年より6年間、鹿島建設様の浜松町駅周辺の工事に向井建設の現場代理人として従事しています。当現場は、近隣に同様の再開発工事が非常に多く、施工スペースも限られるため、多くの連絡調整が必要で難易度の高い工事です。その中で、元請職員や協力会社と常に工法や施工の提案を行い、高品質の躯体構築を目指して施工を進めています。自分一人では到底管理しきれないのですが、若手社員2名のフォローもあり、現場は順調に推移しています。この現場で欠かせない2名の社員は、先輩としても鼻が高く、これからも当現場で技術・技能を研鑽し続けてもらいたいです。



土木統括部 施工管理グループ
千葉 真斗 (勤続3年) 岩手県立黒沢尻工業高校 卒

当現場で施工管理を行っている私ですが、現場を進めると様々な困難が立ちはだかることを実感しています。最近、苦労したことは、重機掘削で、スペースが狭く悪天候が続き、なかなか作業が進まなかったことでした。しかし、元請職員や重機オペレーターと詳細な打ち合わせを重ねた結果、作業を円滑に進めることができた時は「やった、うまくいった」と感慨無量でした。今後も一つひとつの問題に真摯に「たち向かい」、着々と変化していく浜松町駅に携っていることを誇りに感じ、現場の安全施工に尽力していきます。



土木統括部 施工管理グループ
高橋 蓮 (勤続3年) 山形県立酒田光陵高校 卒

当現場は、既存駅舎や既存建屋を残置したまま躯体構築を行っており、その上、各所の調整が多く難工事となっています。多くの工種、1日の作業量が多い中、現場状況を把握して人員調整するのに苦労していますが、お客様からの要望にしっかり応えられるよう日々仕事に取り組んでいます。この現場は、モノレールの駅舎ということもあり、社会基盤の整備に携わっていることを誇りに思い日々安全施工に取り組んでいます。



モノレール駅部を支える新設構造物

福島浜通りの交流を促進する拠点づくり

大熊町産業交流施設

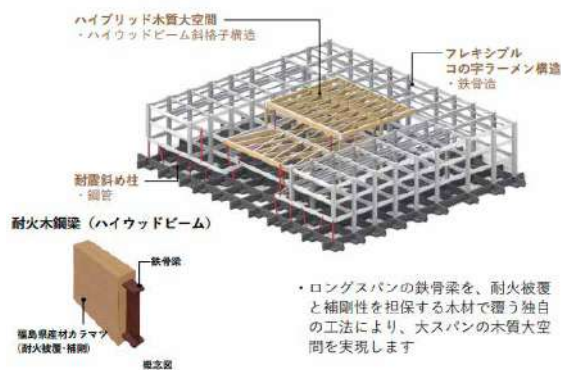
清水建設・関・空間設計特定建設工事共同企業体

産業交流施設は、大熊町西地区の復興を先導するべく、地元産業の需要の受け皿、ビジネスマッチングや人材・企業等の交流に資する働く場、そして長期にわたり新たな産業を生み出す拠点づくりに携わりました。



工事概要

主 要 用 途：事務所、展示場、自動車庫
建 築 面 積：4,287.07㎡
延 面 積：10,298.70㎡
階 数：地上3階
構 造：鉄筋コンクリート造
最 高 高 さ：17.62m



耐火木鋼梁（ハイウッドビーム）構造



東北支店 建築統括部 建築工事業部
福島営業所 伊東貴裕班
職長 小野 康治（勤続18年）

この現場のコンセプトは『町を新たに作り変える』の基、基盤整備と建物の同時進行で、動線確保が難しかったことと、強風地域でJR線に近接しているため、風散対策にはかなり神経を使いました。また、建物の構造が耐火木鋼梁（ハイウッドビーム）を採用しており、梁の表面に傷を付けないよう細心の注意を払いながら施工しました。基礎掘削工事から鉄骨工事まで、無我夢中で走り回り、無事に迎えた鉄骨上棟の日に施主である大熊町の担当の方から、初めて声を掛けて頂いた言葉が「リーダーありがとう」。いつも見ていただいていたこと、職長として認められたことに、誇りとやりがいを実感しました。令和に入り、IT化、DX、働き方改革など、課題は多くありますが、古き良きものは残し、新しいものも積極的に取り入れ、培った技術・技能を遺憾なく発揮し働く仲間を大切に、これからも日々精進してまいります。

有限会社 高橋工業
職長 石井 憲太郎（勤続22年）

この現場では、小野職長の元でサブ職長として、仮設の施工を任せられ、最後まで無事故で施工不良や工程遅延なども無く工事を完了することができました。仮設の施工は、次工程を遅れさせないように、他職さんが安全に使いやすいものを組立てるように心がけました。小野職長から多くのことを学ばせていただきました。また機会があれば一緒に仕事をして、小野職長をサポートしたいと思えます。そして、この現場は、働き方改革を推奨し「完全週休二日制」でしたので、家族との時間が多く取れたことに感謝しています。今後は、今まで培ってきた技術・技能を若手に教えていき建設業の発展に貢献できるように頑張ります。





温暖化対策に貢献するバイオマス発電

■ 仙台港バイオマスパワー発電所建設JP木質ペレットサイロ設備工事 三井住友建設株式会社

宮城県仙台市宮城野地区に、一般家庭25万世帯で使用する電力量に相当する出力112MWのバイオマス発電施設を新設するものです。発電用燃料は、木質ペレットおよびチップが使用され、当社は「木質ペレット貯蔵サイロ」と「サイロ下のBOXカルバート」の構築に携わりました。



貯蔵サイロ(直径48m)底盤の施工



筒体はクライミングシステム工法で施工

工 事 概 要

当 社 施 工：木質ペレット貯蔵サイロ
貯蔵能力60,000 m^3 (36,000 t) $\times$ 2基、
サイロの直径48m、高さ約50m
サイロ下BOXカルバート構築

軀 体 工 事：鉄 筋 工：2,206.0 t
コンクリート：32,547.0 m^3
型 枠 工：33,550.0 m^2
P C 鋼 線：121.8 t



東北支店 土木部
土木工事事務 工事二課
工事係長 鎌田 佳祐 (勤続19年) 秋田県立秋田工業高校 卒

この現場は、プラント工事特有の各専門業者が多く入場し狭いヤード内で共有しながらの施工でありその中で直径48m、高さ約50mのPCタンク構築と今まで経験したことのない難易度の高い現場でした。施工性や安全性を考慮し足場と大判型枠を油圧で迫り上げていくクライミングシステム工法を取り入れ、初めての試みでしたが協力会社の方々と一致団結し無事に完成することが出来ました。まだ工事は続いているので竣工まで無事故を継続できるよう努めてまいります。

大正鉄筋コンクリート株式会社
職長 坂江 貢典

この現場では、今までの在来工法とは違いクライミングシステム工法を導入しての施工となりました。未経験であったため、最初は不安でしたが、打ち合わせを重ねることにより不明点を解消することができ、無事に施工を完了することができました。今回このような大規模なサイロ工事に携わることが出来て感謝しております。この経験を活かし、これからも現場施工や若手の教育、指導に邁進いたします。



環境に配慮した活動を推進

■ 機材管理部は、「重機土工部」と「型枠製造販売部」の2部署を統括する部門で環境に配慮したSDGsに積極的に取り組んでいます。

■ 環境に配慮した取り組み



機材管理部
執行役員

機材管理部長 斎藤 仁光（勤続24年）埼玉県立三郷北高校 卒

重機土工部は、当社の長い歴史の中でも、特に社業発展に貢献してきた機械土工事を施工する部門です。経験豊富で高い技術力を持った職長を中心に、施工力の高い協力会社の皆様とのチーム施工により、お客様から当社に施工を任せて良かったと思ってもらえるよう日々現場管理を行っております。また、建設発生土転用による環境に配慮した再生利用や、土壌汚染対策工事、環境にやさしい土質改良材の販売などSDGsに積極的に取り組んでいます。

型枠製造販売部は、現場でコンクリートを打設する際に使用する型枠パネルを、自社工場の自動化された生産ラインで製造し販売する部門です。型枠業界の繁閑に合わせて、お客様の要望にお応えするため、高品質でスピーディーな対応を心がけております。また、生産過程で発生する端材を再利用した製品加工や、機械土工事の山留工事で使用する木製品の販売と残材の回収、さらにバイオマス発電燃料への循環で、産業廃棄物の削減にも努めています。



重機土工部



型枠製造販売部 大利根型枠加工センター

■ 令和6年度 利友会環境アクション表彰で『準大賞』を受賞

戸田建設株式会社様のグループでは「持続可能な会社」の実現に向けて作業所などにおいて環境配慮型燃料の利用促進、および廃棄物削減活動などを推進し、その活動を表彰しております。

活動内容

- テーマ：
1. 型枠加工時に発生する廃材を削減
 2. 東京本社と寮（4か所）におけるCO₂削減

1. 木材の廃棄量低減のための施策として
 - (1) 型枠加工場向けゴミ箱を設置
 - (2) 型枠支保工用敷板として利用を実践

結果：廃材量を25.83 t（前年より2.8 t 減）前年対比9%低減しました。

2. 電力使用量の多い1月～2月を『節電強化期間』として設定温度の適温化やこまめな消灯、設備の清掃を実施しました。

結果：前年比7%のCO₂を削減し目標を達成しました。



型枠廃材にて加工場のゴミ箱を制作



型枠支保工用敷板として廃材を利用



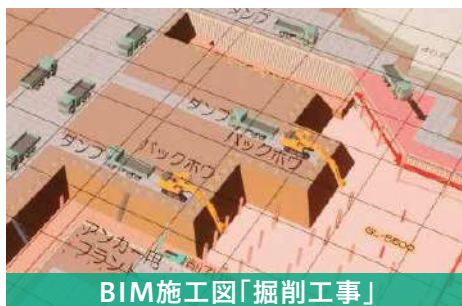
BIM活用による計画力の進化

■ BIMを2018年に導入して6年が経過しました。

主要メンバーに導入から現在までの苦労や進化について聞いてみました。



BIM施工図「鉄骨建方」



BIM施工図「掘削工事」



リアルさを追求した部分詳細

秋葉: BIMの導入時は、仮設部材や重機などのデータも無い状態から部材を一つひとつ作りました。

百崎: 当時は、設計系(家具や什器類)のデータはあったのですが、施工系は無いので、気苦労がすごかったですね。部材がある程度できたあとは「一部分の3Dモデル」を作るとか、それくらいの技量しか無かったので干渉しているのかを見極める程度のものしか作れなかったです。

秋葉: それっぽい形から、どんどんリアリティーを追求して現在に至っています。二次元のデータであったり、寸法が細かく書いてある資料があれば、対応できるようになりました。

百崎: BIMは、入力する情報が多く処理の待ち時間が長いので、効率良く作図するために、別のパソコンを使って別のデータ変換をしながら「二刀流」で効率良く進めています。

金田: そして、新型コロナの影響で、オンラインの打合せやリモート(在宅)勤務など、環境の変化があり元請さんとのデータのやり取りが本格的になりました。

秋葉: そうですね。元請さんから建物の基本データをいただいて、それを施工ステップごとに組み換えて必要な仮設や重機を加えて施工計画図をデータとして送り返すようになり、作業効率が向上したと思います。

百崎: はい。子育てしながら働く私にとっては、リモートは非常にありがたく感じています。技術部は新しいことを取り入れてくれる部門なので、在宅でもオンラインで資料を見ながら打合せができ働きやすい環境が整っています。

秋葉: 技術部は、新しいことは断らない前向きな部署です。そして、BIMは次に何ができるかを模索していたら、動画化がありVR映像で観ることができました。

百崎: そうそう「VRもいけた」みたいな感じでしたね。

金田: 今は「現場内の見学」や「鉄骨が建っていく施工ステップ」が観られる程度です。

百崎: 学校に出向いての出前講座やインターンシップなどの採用活動向けに「現場の疑似体験」をさせている程度ですね。

秋葉: 若い方に、興味を持って観ていただき、建設業に興味を持ってもらえればとの思いでVRに取り組んでいます。もっとリアルに進化させていきますよ。

金田: BIM導入から6年が経過して、簡易的なモデルから詳細なモデルやVR映像も作れるようになりました。リアルさを追求し「納まりがわかりやすい」「鉄骨のはらい込み方向がわかる」とか、それで元請さんや職長さん・作業員さんからも高い評価をいただけるようになりました。これから先も、時代に合ったリアルさを追求して、現場でもっと活用していただけるように進化させていきます。



技術部 課長
金田 洋和(勤続41年)
新潟県立新発田商工高校 卒



技術部 係長
秋葉 幸輝(勤続21年)
千葉県立茂原工業高校 卒



技術部
百崎 幸(勤続16年)
長崎県立佐世保工業高校 卒



VRで仮想現場を疑似体験



VR空間「仮想現場の映像」



建設業と子どもたちの架け橋

■ 建設業と子どもたちを繋ぐ場において、リアルな学びの場を、中学生や高校生に提供することで、ものづくりの楽しさや魅力を伝えています。

■ 高校進学フェア

(主催:NPO法人らいおんはーと)

7月27日(土)、28日(日)の2日間、約100校の高校が集まり中学生の親子からの進学相談を受けるイベント「高校進学フェア」に企業枠ブースを出展しました。将来のことを見据えて進学先を検討していただきたく、建設業の仕事内容や魅力をクイズやゲームで楽しみながら学べる場を提供し、2日間で448名にご来場いただき大盛況でした。



大盛況のブース



建設業クイズにチャレンジ



フェアの受付は長蛇の列

■ ものづくりの魅力を体験

出前講座

諸団体や学校からの依頼を受け、2024年は大学1校、専門学校1校2学科、高校7校に計70回の出前講座を実施しました。足場や型枠の組立解体、墜落制止用器具(フルハーネス型安全帯)の安全衛生教育などの実体験を企画開催しました。



墜落制止用器具のぶら下がり体験



次世代足場の組立解体実習

2万回再生超!!
出前講座の
TikTok



インターンシップ・デュアルシステム

大学1校、高校4校で計16名を受け入れました。主にフルハーネス特別教育や工事体験実習、現場見学や社員とのコミュニケーションを通じて、建設業界や当社を理解していただきました。その結果、2025年卒3名がインターンシップを体験して内定が決まりました。



実際に見て学ぶ現場見学



いざ実践! 仮設の組立実習

技と誇りを広く多くの方々に

今年で21回目となる技能競技大会「技能オリンピック予選会」が5月19日によみうりランド(東京都稲城市)の駐車場で開催。新型コロナ禍が明け、生徒や一般の方々も来場いただき建設業の魅力を伝える活動の一環としました。



2024技能オリンピック予選会



玉掛け競技



とび1級競技



大会準備委員会 委員長
営業統括部 建築営業部
部長 和氣 好秋(勤続21年)
八戸工業大学 卒

技能オリンピックは、『技術・技能の伝承、安全意識はもとより、国家資格取得の士気高揚と自身の技能レベルの再確認、さらには向井建設全体の人材育成と活力ある技能者の社会的地位の向上』を目的としており、2024年で21回目を迎えました。近年では「よみうりランド」の駐車場をお借りし競技環境も整備され上質な状況下で、選手は技能を発揮することが可能となりました。

また、建設業を広く多くの方に認知・興味を持ってもらうように様々な施策を毎年検討しております。



大会準備委員会 事務局
総務部 総務課
課長 雨宮 靖(勤続3年)
日本大学 卒

高校などの生徒、一般向けのイベント開催

この大会を通じて、建設業の魅力を知っていただくために、高校などの生徒を技能オリンピックに招いて、競技観戦や体験ブースで匠の技や業界トレンドを間近で見て体験できる機会を提供しています。就職を考える上で、業界の魅力や技術・技能を紹介することが大切と考えています。



建設業の魅力を伝えるブース



わくわく
イベント

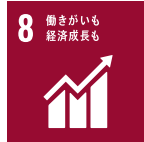


また弊社は、将来を担う子ども達が安心して暮らせる未来創りに強い使命感を持っており、併催する「わくわくイベント」で子ども達が楽しみながら夢を抱ける取り組みも行っています。

学生や一般の方で
賑わう！
技能オリンピックの
TikTok



安全と技術・技能を極める情熱



安全優良職長厚生労働大臣顕彰

この顕彰は、高い安全意識を持って適切な安全指導を実践してきた優秀な職長に贈られるものです。



東北支店 福島営業所 伊東貴裕班
職長 岡部 悟(勤続18年) 福島県立須賀川高校 卒

受賞の連絡が入り、自分がこんな立派な賞をいただいていたのかと思いました。入社以来、元請さんや、東北支店の方々のご指導、伊東工事長の教えを守り、現場で施工に携わり、この賞をいただけたので自分の行動は正しかったのだと思いました。そして、家族の支えがあり今回の受賞はたいへん嬉しく、私を育てていただいた全ての方々に感謝申し上げます。現場を安全に問題無く進めるには、やはりチームワークが大切で、私のモットーは『誰かのために』で他人を思いやる気持ちが無ければ、チームでやる仕事は上手く進まないと思っています。これからも、安全で安心して働ける現場を目指して頑張りますので、変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

建設マスター(優秀施工者国土交通大臣顕彰)

この顕彰は、40歳以上60歳以下の優秀な技能・技術を有する卓越した建設技能者に贈られるものです。

建築直轄施工部 星グループ
職長・係長 中田 洋二(勤続36年) 広島県立西条農業高校 卒

この度、たいへん名誉な賞をいただけたのは、元請関係の皆さま、会社関係者並びに、仲間のおかげです。誠にありがとうございます。職長として、安全第一を考えながら、他職の方々と連携を取っていくようにしています。だからこそ、現場で起こるイレギュラーな作業においても臨機応変に対応できています。後輩の育成においても、基本作業や、知識をつけてもらうように教育・指導をしています。これからも自分自身に嘘のない仕事をしていき、毎日笑って怪我無く家に帰ることを目標に精進してまいります。



優秀施工者国土交通大臣顕彰
令和6年10月18日



東北支店 建築工事部 宮城営業所 ムカイスチール
職長 山崎 穣(勤続18年) 東北学院榴ヶ岡高校 卒

このような名誉な賞をいただけたのは、周りの皆様のおかげだと心より感謝しています。現場で感動したことは、鉄筋工事の施工期間が2年という長期の現場で、複雑な納まりなどを自分で考えて施工し、完成した時の感動と達成感はひとしおでした。若手の指導は、自分の持っている知識や経験を踏まえて、後輩の意見も聞きながら指導するように心がけ、安全、品質面を模範になるように意識しています。これからも安全を第一に考え、技術・技能の向上に努めて日々精進していきます。

建設ジュニアマスター(青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰)

この顕彰は、39歳以下の優秀な技能・技術を有する卓越した建設技能者に贈られるものです。

東北支店 建築工事部 宮城営業所 石田班
職長 斎藤 匡昭(勤続14年) 宮城県鹿島台商業高校 卒

これまでやってきたことが評価され、このような賞をいただき喜ばしく思います。現場では、元請さんや他職さん、作業員さんと円滑にコミュニケーションを取り、工程調整や作業方法がうまくいった時の充実感と、足場作業などの目に見える部分が綺麗に仕上がった時に達成感とやりがいを感じます。これからも数多くの現場をこなし、どんな仕事でも安心して任せてもらえる職長になりたいと思います。



優秀施工者国土交通大臣顕彰
令和6年10月18日

変わりゆく時代に向けて すべてのお客様へ安心と満足を

株式会社 TOM

TOM

■ 会社概要

代 表 者	代表取締役社長 成田 広	資 本 金	51,500,000円
東 北 本 社	宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17	事 業 内 容	建築土木一式工事 内外装リニューアル工事 耐震補強工事、建物解体工事、他
東 京 本 店	東京都千代田区神田須田町2-8-1		
設 立	1987年9月18日		



ある時は「ゼネコン」またある時は「サブコン」の【二刀流】として ①設立以来培った高い技術力、優れた施工管理能力による新築工事。②既存の古い建物を蘇らせる改修工事・内外装リニューアル工事。③地震に対する安全の提供、補強計画を提案する耐震補強工事。④電力、下水、橋梁・鉄道など、都市インフラ整備を施工する土木工事を得意としています。



代表取締役社長
成田 広（勤続40年）青森県立弘前工業高校 卒

私は40年前に青森の工業高校を卒業し、ムカイグループ一筋に仕事と共に人生を歩んできました。その間、東京で20年、東北で18年、昨年から再び東京での勤務となり多くの経験をいたしました。東北時代には東日本大震災を経験し、当日は被害が甚大だった気仙沼の現場にいたため、命の危険も感じました。崩れた建物をかいくぐり、落ちた橋を迂回し、何とか津波にも遭遇せず奇跡的に真夜中会社に戻れました。

私たちの仕事は、人々の生活に欠かせない住宅、病院、オフィスビル、工場、駅などの公共的な施設をつくっていますので、やりがいや達成感を得ながら、使う人々の笑顔と喜びを思い描きながら地域社会に貢献しています。

当社は東北本社22名、東京本店15名と小さい会社ですが、幅広い仕事を経験でスキルアップが早いです。多様な仕事の経験ができ、大変そうに思われるでしょうが、その分「広い視野と経験」「社会人としての成長が早い」「新しいことに挑戦できる環境がある」というメリットがあります。そして、少人数で一人の役割が明確化されているので、大企業のように細分化されておらず、将来は自分の考えで仕事を進められ、会社への貢献度を実感できる会社です。

社長を拝命し、10ヶ月とまだまだ未熟者ですが、国土強靱化、インフラ保全、長寿命化、自然災害時の緊急対応に貢献し、持続的な社会貢献ができる会社に飛躍いたします。

■ 育児休暇を取得しました

5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等
をなくそう



当社は、育児休暇や時短勤務、テレワークを導入しているため、家族との大切な時間を楽しむことができます。

2024年
男性社員2名が
育児休暇を
取得しました



■ 自然災害発生時のボランティア活動へ参加しました

11 住み続けられる
まちづくりを



2024年1月24日、秋葉原駅にて、「千代田区社会福祉協議会」主催の能登半島地震の街頭募金に参加しました。



沿線地域の発展と快適性の向上

北海道新幹線 栄原高架橋特定建設工事

鉄建・徳倉・工藤建設共同企業体

北海道新幹線は、函館北斗から札幌市までの200kmの路線躯体の整備を行っています。弊社は、長万部から倶知安駅間の「栄原高架橋」の施工に携わっています。

工事概要

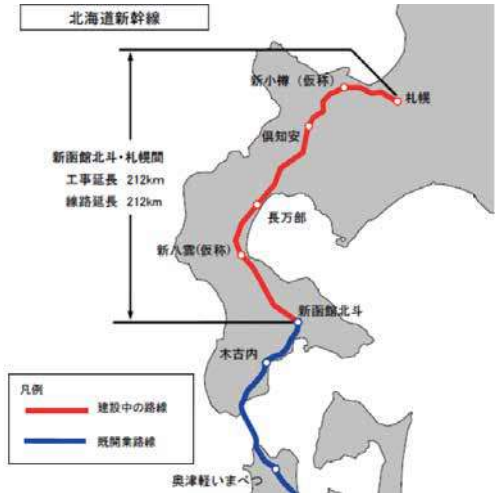
	全体	TOM 施工範囲
ラーメン高架橋：26連		10連
RC場所打T桁橋：42連		16連
R C 橋 脚：32基		8基



第3栄原BL※ P1掘削、P2基礎CON



第4栄原BL※ P3上部梁底組立



出典：JRTT鉄道・運輸機構（略称）

※BL：高架橋



統括本部

取締役本部長 草野 昭男（勤続51年）原町工業高校 卒

2023年12月から本格的に工事が始まり、当初は東北地区の協力会社さんと工事を進めていましたが、工事の本格化に伴い地元北海道の会社さんからも労務提供をいただき工事を進めています。この辺りは、北海道でも豪雪地域で、冬季の施工は苦勞が絶えないと思いますが、社会基盤の整備と沿線地域の豊かさをつなぐ工事を当社の社員と協力会社さん、作業員さんと共に、額に汗して日々、仕事の達成感を感じながら取り組むことが、人間性、技術・技能、管理力の向上と確信し、自らの管理業務に邁進してまいります。

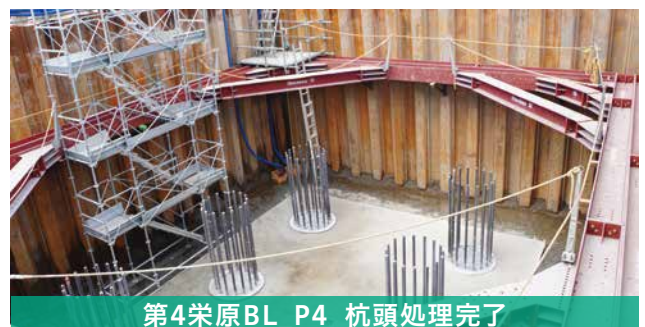
統括本部 工事部 工事課

佐々木 裕（勤続1年）国立鶴岡工業高等専門学校

長万部は人口4,000人ほどの街で、現在は、工事関係者が多く作業員さんの宿泊場所を手配するのにも苦勞しています。また、この近辺は工事が多く、資機材の確保も難しく先を読んで手配をしないと工事に間に合わないこともあります。ですが、上司や協力会社の方々から優しく丁寧に教えていただけるので、とても環境に恵まれていることに感謝しています。土木の仕事は、多くの人のためになる仕事ですから、社会や地域のためになる良い施工をします。そして、私自身も管理能力、人間力を磨き日々成長したいと思います。



第3栄原BL_P2 基礎CON打設前



第4栄原BL_P4 杭頭処理完了



子どもたちが良好な環境で学ぶ舞台

千代田区立お茶の水小学校・幼稚園改築工事

戸田・不動・ムカイ建設共同企業体

この工事は『ちよだみらいプロジェクト』の取り組みとして、築50年が経過した校舎・園舎の改築工事です。子どもたちが良好な環境のもとで、のびのび元気に学習できる施設の施工に携わりました。

工事概要

敷地面積：4,850㎡
延床面積：13,500㎡
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上6階、地下2階
最高高さ：普通教室棟 23.95m
特別教室棟 31.61m



特別教室棟の屋上緑化



普通教室棟



工事部

課長 高安 正樹（勤続30年）日本大学 卒

この小学校は、ちよだみらいプロジェクトの目標である「安全で安心できる、いつまでも住み働き続けられるまち」「心豊かに学び、文化を創り出すまち」「人と人とのふれあいを大切にする、個性あふれるまち」を実現するために計画された建物です。特別教室棟では、地域住民が利用できる集会場や音楽室などがあり、屋上には大型ソーラーシステムと緑化システムを備えています。また、免震構造で、災害発生時の避難場所にもなっています。子どもたちの教育の舞台であり、地域住民の重要な生活拠点となる建物に携わることができて、心から感謝しています。今後とも、仕事を通じて社会貢献ができるよう自分磨きに日々精進していきたいと思っています。

東北本社・東京本店

3 すべての人に
健康と福祉を8 働きがいも
経済成長も

ワークライフバランスの実現に向けて

業務時間短縮ツール『フォトラクション』を導入

現場の施工管理者にとって工事写真の撮影や整理、各種検査業務は大きな負担となっていました。また、作業の進捗状況を現場から上司への報告までに時間を要していました。そこで業務改革を進め、業務時間短縮を可能とするツール「フォトラクション」を導入いたしました。アプリで撮影するだけで工事写真が自動整理され、複数の現場写真を誰でも場所や時間に制限されることなく確認ができ、便利な黒板機能や大きな図面を持ち歩くこともなく業務の効率化や業務分担により人材不足や残業規制にも役立っています。

現場の状況を
リアルタイムで
確認できる

業務時間の短縮に
繋がっている

黒板機能が
使いやすい

各現場の写真を
いつでも自由に
観ることができる



現場社員の声



リアルタイムで
若手社員への指導、
伝達が行える

写真台帳が簡単で
写真の検索が
しやすい

タブレット、スマホ端末で
簡単に操作でき
使い勝手がよい

変わりゆく時代に向けて 私たちが地球のためにできること

MKエコプラント株式会社

■ 会社概要

代 表 者	代表取締役会長 向井 敏雄 代表取締役社長 丸山 長裕	設 立	2003年9月18日
本 社	宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17	資 本 金	10,000,000円
おおさと リサイクルセンター	宮城県黒川郡大郷町川内字中淬山1-33	事 業 内 容	産業廃棄物および一般廃棄物処分業 産業廃棄物および一般廃棄物収集運搬 解体工事(主に木造建物)、他



MKエコプラントは「資源循環型社会に貢献する」を経営理念の一つに掲げて2003年9月に会社を設立、2005年9月に「産業廃棄物再資源化工場」おおさとリサイクルセンターを建設し、20年近くにおよんで産業廃棄物中間処理施設として資源循環型社会の形成に貢献しています。

私たちは、地球を汚さない壊さない!!

産業廃棄物中間処理業が本業であるMKエコプラントの経営理念は、SDGsの環境問題に関する開発目標やターゲットの多くと一致しています。私たちは、これらの経営理念や経営方針をSDGsの取り組みを通して強力に実践し、技術・技能・知識を持続的に発展させることで、今後益々深刻化する環境問題の解決に大きく貢献できる仕組み作りを図りながら、社会から尚一層必要とされる価値の高い企業を目指しています。

■ 廃棄物(最終処分量)の発生を減らす取り組み

活動内容 1. 硬質廃プラスチックのリサイクル

従来、当社では廃プラスチック類の中の硬質廃プラスチック類は破碎して減量化した後に安定型最終処分(埋立)としていました。これらがリサイクル可能だとすると、燃料(サーマル)として再利用が一番容易ですが、硬質廃プラスチック類に含まれる塩素が焼却炉の炉を傷め、腐食の原因となることと、ダイオキシンを多く発生させる原因となるため、低塩素濃度のプラスチック製品を識別できる知識と識別眼を会得しなくてはなりません。そこで社内教育を実施して従来最終処分(埋立)としていたものをサーマルリサイクルとする活動を行っています。

活動結果

活動報告期間：2021年7月15日～
2024年9月14日

実 稼 働 日：829日

硬質廃プラスチック類・
期間内受入量 …………… 16,058m³

硬質廃プラスチック類・
リサイクル数量 …………… 2,242m³

14%削減

最終処分量(埋立)



30m³BOXダンプトラック



× 約75台

廃プラリサイクル量

おおさとリサイクルセンター エリア管理
鈴木 晃(勤続19年) 専門学校デジタルアーツ仙台 卒

産業廃棄物中間処理業に携わってからは、環境問題に少しずつ関心が高まってきました。そんな中で、少しでも「地球に埋める廃棄物」を少なくしようという今回の取り組みには大いに賛同するとともにやりがいを感じています。プラスチックの廃棄物は多種多様にわたり、未だに低塩素濃度のプラスチックを完全に把握できていないわけではありませんが、日々見識を高めてリサイクル率の向上に寄与できるよう、これからも研鑽を積んでまいります。



活動内容 2. 解体系廃石膏ボードのリサイクル

従来、解体工事から排出される廃石膏ボードは砒素やカドミウムといった有害物質が含まれていたり、クロスや塗料、木、タイル、タッカー（大型のステープル針）などの異物が付着している物や複合端材がほとんどなので、解体系廃石膏ボードは全て管理型最終処分（埋立）としていましたが、再生処理専門受入業者（リサイクル業者）と、解体系廃石膏ボードをどの程度ならリサイクルとして受け入れてくれるのか協議を重ねて、協議した内容に沿って選定作業を実施しています。

活動結果

活動報告期間：2022年1月15日～
2024年9月14日

実稼働日：697日

解体系廃石膏ボード・
期間内受入量 5,069m³

解体系廃石膏ボード・
リサイクル数量 568m³



SDGsの開発目標期限2030年までの予想リサイクル量（ ）内は、30m³BOXダンプトラック換算の台数

- 廃プラリサイクル量 6,690m³ (223台)
- 廃石膏ボードリサイクル量 1,920m³ (64台)

トピックス 他



2024年6月5日 公益社団法人 全国産業資源循環連合会より
多年にわたる業界への貢献が認められ優良従事者表彰を受賞

おおさとリサイクルセンター
センター長 伊藤 博志（勤続31年）古川商業高校 卒

向井建設時代を含めて30年近く産業廃棄物に携わってきました。時代の変化とともに業態もめまぐるしく変わりコンプライアンスが厳しく問われる業界になったと痛感しています。そんな環境の変化に対応すべく今まで精一杯業務に邁進してきましたが、このように賞をいただいたことは今後の励みとなります。これからも地球環境保護の観点から、業界発展に寄与できる存在となるべく精進してまいります。

2023年4月～2024年3月

■ リサイクル率 87% (産廃ネットにて情報開示)

■ 優良産廃処理業者認定 (2015年より認定継続中)

エコアクション21相互認証

■ みちのく環境管理規定認証登録

(初回認証登録日 2014年11月29日 認証登録日 2023年11月29日 有効期限 2025年11月28日)

変わりゆく時代に向けて 豊かな人と社会をつくる

株式会社 稲田組

■ 会社概要

代表者	代表取締役会長 遠藤 和彦 代表取締役社長 中塚 佳愛	設立	1962年4月
本社	北海道札幌市豊平区月寒中央通3-1-10	資本金	60,000,000円
資材センター	北海道北広島市大曲771-12	事業内容	設計企画管理、建築工事、土木工事、とび土工 鋼構造物工事、舗装工事、橋梁架設工事、杭基礎工事



長く安心して過ごせる建物がある街には人が集って活気にあふれ、明るくて希望に満ちた暮らしが生まれます。稲田組の社訓である「誠実・和」という人を想う心を胸に私たちは仕事に向き合い、より豊かな人と社会と未来の創造を目指しています。

近隣に配慮した「人を思う安全施工」

建 築 部

■ 札幌市内の5階建共同住宅

小学校が近くにあり、小学生が登下校している様子が見える現場のため、最大限の安全性を維持しながら、工期内に完成を目指すとても緊張感のある現場です。



工 事 概 要

建物用途：共同住宅
延床面積：1379.22㎡
構 造：鉄筋コンクリート造
規 模：地上5階建



建築部

係長 谷 巖（勤続9年）北海道中央工学院 卒

北海道は、11月中にロードヒーティング（積もった雪を解かす装置）の設置を終わらせないと3月まで施工できないのが、一番の悩みの種にはなっています。時代の変化に柔軟に対応できるよう、女性や外国人技能実習生の働き手が増えてきているので、隔たりが無いように関わっています。また、女性の施工者が入場しても大丈夫なように準備を整えています。私は、これからの建設業を担う若手の育成が一番大事だと考えていて、若手の社員や施工者に目的を明確に話し自分で考える機会を与え指導し、大切な人材が誇りややりがいを持って現場施工に邁進できるように育てています。

建築部

秋庭 弘幸（勤続4年）青山建築デザイン・医療事務専門学校 卒

この現場は、足場の組立の際に歩道が近く、第三者に迷惑をかけないように安全対策を行う必要があります。その対策としてシートとスカイフェンスで二重に飛来落下防止を行っています。また、毎日見回りを行い、第三者の安全安心を担保しています。そして、工程が遅延しないように、職長や作業員さん達としっかりとコミュニケーションをとりながら、進捗管理を行っています。まだまだ勉強中の身なので、1つでも多く仕事を覚え、早く一人前の施工管理者になれるように努力しています。





地域の安全・安心を支えるランドマーク施設

鉄 構 部

AXA札幌PJ新築工事

北海道は「ゼロカーボン 北海道」を、札幌市は「環境首都・SAPPORO」を掲げ、脱炭素や再生可能エネルギーへの移行に向けた施策の推進や中島公園駅周辺のまちづくりの一助となる民間開発案件、さらに地域の安全・安心を支える地域強靱化に資するBCP拠点として、市民の皆さまから愛されるランドマーク施設の施工に携わっております。



出典:アクサ生命保険株式会社HP

工 事 概 要

建 物 用 途: 事務所・ホテル
延 床 面 積: 52,776.88㎡
構 造: 免震構造、鉄骨造
規 模: 地上14階、塔屋1階
高 さ: 59.995m



鉄構部

係長 小田原 秀明 (勤続6年) 北海学園大学 卒

この現場は、ヤードの盛替えや狭さをうまく使わないといけないう状況で、ロング梁を組み立て、建て方の工区境に持っていくタイミングが難しかったです。

また、2024年問題「働き方改革」の一環で、極力残業にならないような工程を組んで、調整しており、その他にも他職の人たちと現場の仲間として話し合える仲間ができて良かったと感じています。今後も、危険作業もまだ続くので、気を抜かずに安全施工に取り組んでいきます。

株式会社 熊木工業
職長 白倉 寛

この現場で苦労した点は、地組梁がいくつかあり、現場で組み立てレベル調整と通り出しを行って、本締めしたのちに吊り上げて取り付けする梁が非常に多い、という所です。毎日地組作業をしないといけなことが大変ですが、関わる方々の努力と頑張りで乗り切っています。若手社員には、現場に入る前にしっかりと教育して、現場に送り出せるようにしています。現場で、花火大会を一望できるように手配していただき、現場の人たちと花火を楽しむことができて思い出に残る現場になりました。



MUKAI GROUP

ムカイグループ ブランドメッセージ

たち向かう



MUKAI HD

ムカイホールディングス株式会社

東京都千代田区神田須田町2-8-1



向井建設株式会社

東京都千代田区神田須田町2-8-1



株式会社TOM

宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17



MK ECO

MKエコプラント株式会社

宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17



株式会社 稲田組

北海道札幌市豊平区月寒中央通3-1-10

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

ムカイグループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

2024122600(Y)